

## つぶやき

私が就農した時は増産時代で、山形県の篤農家に通い、一反当たり五石（約750kg）も収穫をあげた時もありました。また、集落の坪刈りで豊作の時には、盆太鼓で踊り喜んだものです。トラクター、コンバイン、田植機等のなかった頃ですが、今となれば大変充実していた時だったと思っています。

4、5年経った時から減反が始まり、最初のうちはなかなか受入れられませんでしたが、仕方なく受け入れました。その後、年々増えつづけ、今では耕地の三分の一、豊作の年は、来年また減反が増えると話をしたものです。

また、次々と制度が変わり、やっと覚えたのにまた別制度、頭の悪い自分には、理解ができない時もありました。

その中で、頭に残っているのは、集落で100%減反に協力しないと、一律に一俵千円下げるとの事、その時は、協力しない人と言い争いをした事もありました。

今になると、正直者よりヤボをした者が得をしたように思われます。これは考え過ぎか分かりませんが、減反がなくなると、手っ取り早いのが米を作る事、今でも消費が減っているのに、米がダブついて価格が下がるのでは？大農家を育てると言いますが、大農家程困るのではないか？など、負のことを考えては前に進めませんので、色々知恵を出し、工夫を重ね、米の消費が多くなるようにしたいものです。

そして、若い人が元気に農業をやっている、社会になってもらいたいものです。

（五十嵐委員）

## 待ってうれしい花いちもんめ

## お花を飾ろう

すつきり気持の良い部屋で過ごしたくとも、毎日外出しがちだったりして、片付ける時間がない。また今の季節、外は寒いので、暖かい部屋に閉じこもりぎみで、なかなか散らかった部屋を片付ける気になりませんね。

こんな人は、騙されたと思ってお部屋にお花を飾ってみよう。「花を飾ると散らかった部屋が綺麗に片付く？」部屋を片付けてからお花を飾るのではなく、先にお花を一輪でも飾ってみると不思議な事に、お花を飾ったまわりは散らからないのです。勿論、お花がみずから片付けを行う訳はありません。人間の心理として、綺麗なお花を見ていると、心が癒されすつきりとした豊かな気持ちになります。この気持ちのままいると散らかった部屋が気になり、みずから片付けを行うという事です。お花には不思議な魅力があります。ぜひ、飾ってみましょう。「花を飾ると、景気が上向き？」

切り花の生産及び消費は、一九七十年代後半とバブル期の一九八十年代後半に大きな伸びを見せました。しかし、バブル経済が終わりを告げ、贅沢品は買い控えされる中で、生活必需品ではない切花の生産及び消費は下降線をたどっています。今、経済は上向きと言われていますが、なかなか実感が湧きません。皆さんお花を飾ってみましょう。裏をかえせば、お花の生産、消費が上昇すれば、経済も上昇するかもしれません。しかし、今の季節、旬のお花は何かと考えてもなかなか思いつきませんが、身近なお花が旬なので、それは新潟県のお花であるチューリップです。11月から4月まで県内で生産されるチューリップの切花は、バブル期では三千万本近い本数が生産されました。今では約半分になりましたが、県内を始め全国に出荷されています。今度、お花屋さんで、チューリップの切花を探し飾ってみてはいかがでしょうか。

（嶋津委員）



## 待たれてうれしい花いちもんめ